

(様式第1号-1)

年 月 日

NPO法人共働のまち大野城
理事長 穴井 芳春 様

団体名	
-----	--

代表者住所	
-------	--

代表者氏名	
-------	--

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
事業申請書

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業による助成を受けたいので関係書類を添えて以下のとおり申請します。

事業名	
事業実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日
助成金申請額	
助成実績	なし / あり (1回 2回)
添付書類	次の書類を添えて提出します。(※左の□にチェックください) 事業計画書(様式第1号-2) □ 収支予算書(様式第1号-3) □ 同意書(様式第1号-4) □ その他の添付書類 ()

※裏面のご記入をお願いいたします。

(様式第1号-2)

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
事業計画書

事業名	
団体名	
実施期間	年 月 日 ~ 年 月 日
事業概要	この事業は、 地域が抱える諸課題を解決する コミュニティ活動の活性化を図る その他 ()
解決したい 地域課題	【解決したい大野城市の地域課題をご記入ください】
事業目的	【事業の目的について詳しくご記入ください】
事業内容 (計画性・公益性)	【実施方法を具体的にご記入ください(時期・回数・場所等)】 ※詳細は裏面のスケジュールにご記入ください。
事業の目標	【事業の目標を具体的にご記入ください】
期待される 効果	【事業を実施することで、地域がどう良くなるかをご記入ください】
事業協力団体	【事業実施に協力を求めたい各種団体をご記入ください】
今後の展望 (発展性、継続性)	【次年度、再来年度の活動についてどのように継続・発展させていくのか具体的にご記入ください】 ※対象：申請1年目、2年目の団体
	【ファンド事業助成終了後、活動をどのように継続・発展させていくのか具体的にご記入ください】 ※対象：全団体

※裏面のご記入をお願いいたします。

■事業スケジュール

【準備、実施、検証などいつ頃行うのかをご記入ください】

活動月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月		
5月		
6月		
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
1月		
2月		
3月		

(様式第1号-3)

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
収支予算書

事業名	
-----	--

【収入の部】

項目	予算額 (円)		内訳
自己資金			
助成金申請額	(A)		
合計	(B)		

【支出の部】

費目	予算額 (円)		内助成対象経費 (円)	内訳
合計	(B)		(A)	

※助成対象経費・助成金交付額の概要は、応募の手引き3ページを確認ください。

※助成対象経費及び支出の部の費目は、応募の手引きに記載されている助成対象費目で記入してください。

※なお、助成金交付額は、審査会終了後に決定します。

(様式第1号-4)

年 月 日

NPO法人共働のまち大野城
理事長 穴井 芳春 様

団 体 名
団体所在地
代表者氏名
生 年 月 日

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
同 意 書

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業申請に伴い、下記の内容について同意いたします。

記

1. 大野城市暴力団排除条例の趣旨に基づき、必要に応じて氏名、生年月日等を春日警察署に照会
する可能性があること。
2. 事業の実施に関するうえで知り得た個人情報の取り扱いには十分な注意を払い、適切な管理を
行うこと。また事業が終了した後においても同様とする。
3. 助成金の交付決定通知後に事業内容に重大な疑義や虚偽、または不適切な事業の履行が発覚し
た場合は交付決定を取り消す可能性があること。なお、その際に助成金が支払われていた場合は、
助成金の一部または全額を返還させる可能性があること。
4. 事業実施の様子や内容について、大野城市コミュニティセンターでの掲示やホームページ等に
掲載する可能性があること。
5. 事業決算額が事業予算額を下回り、助成対象額が当初予定よりも減額となった場合は、助成金
額が減額となること。また、既に概算払（仮払い）で助成金を受け取っている場合はその差額を
返還すること。
6. 事業実施の際、「この事業は、大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業の助成を受
けて実施しています。」という案内を行うこと。また、チラシ等作成する場合は必ずこの記
載をすること。
7. 「大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業実施要綱」を遵守すること。

以 上

(様式第1号-1)

記入例

令和●年●月●日

NPO法人共働のまち大野城
理事長 穴井 芳春 様

団体名	美化活動大野城会
代表者住所	大野城市●●●1-1-1
代表者氏名	大野 ジョー

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
事業申請書

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業による助成を受けたいので関係書類を添えて以下のとおり申請します。

事業名	MIKASAリバー・クリーン事業
事業実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日
助成金申請額	135,000円
助成実績	なし / あり (1回 2回)
添付書類	次の書類を添えて提出します。(※左の口にチェックください) 事業計画書(様式第1号-2) 収支予算書(様式第1号-3) 同意書(様式第1号-4) その他の添付書類 ()

裏面のご記入をお願いいたします。

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
申請団体情報シート

1. 組織状況

フリガナ	ビカカツドウオオノジョウカイ		
団体名	美化活動大野城会		
フリガナ	オオノ ジョー		
代表者名	大野 ジョー		
連絡先	団体所在地	大野城市●●●1-1-1	
	電話番号	092-●●●-●●●●	担当者：大野 まどか
	FAX番号	092-●●●-●●●●	
	E-mail	bikakatudou-onojo@oni.co.jp	
設立年月 (活動開始年月)	令和元年 4月 1日	会員数	15人
団体の目的	大野城市全体がきれいで、誰もが安心して住みよいまちになることを目的とする。		
主な活動	これまで、公園や道路、河川の清掃活動、また、環境美化啓発活動として駅前でのチラシ配布などに取り組んできた。 ●清掃活動 年2回実施 市民約20人が参加 ●駅前での環境意識啓発活動 年2回 会員で500枚/1回のチラシ配布		

2. 財政状況【団体の財政状況（昨年度実績を記入）】*財政状況がわかる任意の書類提出でも可。

財政状況がわかる任意の書類		有	無
収入	項目	金額	備考
	会費	15,000円	会費 年1,000円
	寄附金（含協賛金）	5,000円	
	事業収入		
	その他（助成金など）		
合計	20,000円		
支出	項目	金額	備考
	事業費	6,000円	
	管理費	3,000円	清掃道具管理用
	その他		
	合計	9,000円	

3. 広報状況

広報誌・会報誌など	有（年 回発行）	無		
ホームページやブログ	有	無		
SNS	フェイスブック	ツイッター	インスタグラム	ライン
	その他（ ）			

※他に団体に関する資料があればご提供ください。（活動報告書、団体の定款・団体規則、会報、総会資料等）

※ご記入いただいた内容については、大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業に関する審査会や情報公開（大野城市コミュニティ活動応援ファンド設置要綱第12条の規定により判断する。）及び一連の業務以外には使用いたしません。

(様式第1号-2)

記入例

大野城市コミュニティ活動応援ファンド事業
事業計画書

事業名	MIKASAリバー・クリーン事業
団体名	美化活動大野城会
実施期間	2023年 4月 1日 ~ 2024年 3月 31日
事業概要	この事業は、地域が抱える諸課題を解決する コミュニティ活動の活性化を図る その他（ ）
解決したい 地域課題	【解決したい大野城市の地域課題をご記入ください】 現在、御笠川やその周辺に不法投棄や犬などの糞害がみられ、衛生的および景観的にもよ くない状況である。 環境保全の観点からも改善すべき課題であると認識しているため、本事業で環境美化に努め たい。
事業目的	【事業の目的について詳しくご記入ください】 河川敷やその周辺を住民や企業、子どもたちと一緒に清掃することで環境美化に努めるとと もに、住民や企業、子どもたちの環境美化意識の向上を図ることを目的としている。
事業内容 (計画性・公益性)	【実施方法を具体的にご記入ください(時期・回数・場所等)】 ※詳細は裏面のスケジュールにご記入ください。 四半期に一度、地元住民や学校関係団体、地元企業への呼びかけを行い、ボランティアと一 緒に、御笠川の河川敷や周辺道路の除草・草刈りおよび清掃を行う。
事業の目標	【事業の目標を具体的にご記入ください】 参加者(目標): 400人 参加対象: 会員、地元住民、学校関係団体、地元企業無償ボランティア 清掃実施回数: 4回 募金額: 20,000円
期待される 効果	【事業を実施することで、地域がどう良くなるかをご記入ください】 市民自らが清掃活動を行うことによって、日常から環境に対する市民の意識を向上させることが期 待される。 活動を通して、参加者自身の自発的な活動への意識向上や市内全体の美化意識の向上にもつなが る。 御笠川河川敷がきれいになり、河川敷を散歩する人が増え、ふるさと愛の醸成につながる。
事業協力団体	【事業実施に協力を求めたい各種団体をご記入ください】 〇〇公民館・〇〇株式会社・〇〇の会
今後の展望 (発展性、継続性)	【次年度、再来年度の活動についてどのように継続・発展させていくのか具体的にご記入くださ い】 ※対象: 申請1年目、2年目の団体 御笠川河川敷のみならず、その他の場所における活動へと展開の幅を広げていく予定である。 10代・20代の若い世代の参加者を増やせるようSNSを活用し情報を発信していく。 また、街頭での募金活動を実施し、財源確保に努める。 【ファンド事業助成終了後、活動をどのように継続・発展させていくのか具体的にご記入くださ い】 ※対象: 全団体 ファンド事業助成終了後も、美化活動を継続的に実施しながら、地域活動の裾野を広げていく。 また、活動を広く周知することで会員増加につなげ、会費収入の増加や活動に賛同してもらえる個 人や団体、企業等からの寄附金が増加するなどの自主財源確保に努め、以後の活動を継続させる。

裏面のご記入をお願いいたします。

■事業スケジュール

【準備、実施、検証などいつ頃行うのかをご記入ください】

活動月	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	会議・広報チラシ作成	
5月	参加者募集の情報をSNSで発信・チラシ配布	フェイスブック・ライン・インスタグラムでのPR コミュニティセンター・公民館へのチラシ配布
6月	御笠川河川敷清掃活動実施 街頭募金	御笠川河川敷清掃 大野城イオン前募金
7月	会議・広報チラシ作成 会報誌作成	
8月	参加者募集の情報をSNSで発信・チラシ配布 会報誌を会員に配布	フェイスブック・ライン・インスタグラムでのPR コミュニティセンター・公民館へのチラシ配布
9月	御笠川河川敷清掃活動実施 街頭募金	御笠川河川敷清掃 白木原駅前募金
10月	会議・広報チラシ作成	
11月	参加者募集の情報をSNSで発信・チラシ配布	フェイスブック・ライン・インスタグラムでのPR コミュニティセンター・公民館へのチラシ配布
12月	御笠川河川敷清掃活動実施 街頭募金	御笠川河川敷清掃 春日原駅前募金
1月	会議・広報チラシ作成 会報誌作成	
2月	参加者募集の情報をSNSで発信・チラシ配布 会報誌を会員に配布	フェイスブック・ライン・インスタグラムでのPR コミュニティセンター・公民館へのチラシ配布
3月	御笠川河川敷清掃活動実施 街頭募金	御笠川河川敷清掃 乙金イオン前募金